関の決勝ゴールに沸く駒大イレブン。この勝利で駒大は3連勝を飾った(撮影・野澤俊介)

JR東日本カップ　2003　第77回関東大学サッカーリーグ戦（前期）１部リーグ　第四節

KOMAZAWA × ASHIA

駒澤大学２－１亜細亜大学

先制を許すも２戦連続逆転勝ち！！
次節からの上位対決にはずみをつける！

苦しみながらも、逆転に成功、３連勝！

あまり良い内容とは言えない試合が続くも、ここまで２勝１分けと負けなしの駒大。

対するは、未だ勝ち星のない亜大。この試合で快勝し、次節からの国士・東学・筑波との３連戦に弾みをつけたい駒大だったが、開始15分、**田之上**に早々と先制弾を許し出鼻をくじかれる。「前半はプレスがかけられず、中途半端だった」（**中田**）というように、間延びした中盤を亜大に支配され、**貞安**らに再三に渡って最終ラインの裏を突かれ、混乱を招いた。

「去年と同じミスはしたくなかった」（**鈴木**）駒大は昨年のリーグ戦前期で８得点、関東選手権で５得点と亜大を完全にお得意様としていたつもりだったが、リーグ戦後期、スピードのある**岩田**をＦＷで起用すると言う亜大の作戦が的中。その**岩田**の２得点などでまさかの敗北を喫した経験もあり、二の舞を避けたい駒大は後半から徐々にペースを掴み始める。

53分、**中田**のヘディングシュートがバーを直撃すると、前節で華々しいデビューを飾り、この日初先発の**原**もすぐさま頭で狙い亜大ゴールを脅かす。そして60分、ついにネットを揺らす。エリア内でパスを受けた**原**がシュートしたボールは、一度クリアされるものの**赤嶺**の下へ転がる。ＤＦがつめてきたが、一瞬早かった**赤嶺**が落ち着いてゴール右へ打ち込み同点とする。

直後、ベンチはこの日、足首の怪我で先発を外れた**中後**を投入。「**中後**が入ってから本来の流れを取り戻せたと思う」（**中田**）ここから中盤が活性化した駒大は押し気味に試合を進め、１年生ＦＷコンビ**原**、**巻**が何度か決定的場面を演出。

そして、徐々に会場全体に駒大ゴールの期待が高まるなかで、決勝点をたたき出したのは**原**と交代し、今季初出場の**関**だった。たぐい稀な攻撃センスを持ちながらも控えに甘んじていた今季。「点を取ることを期待されて出された」という**関**は**中田**からのクロスをＤＦと競り合い